

やる気発生装置

グローバルな時代を生きるための英語

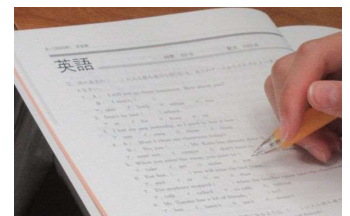
ようやく雨が上がり、きのうはすばらしい好天でした。僕は他の塾の先生方との集まりなどがあって自転車でウロウロしていたのですが、どこに行っても人や車があふれていて、やや閉口しました。人混みはどれも得意ではありませんが、いちどは静かになった京都の街にこれだけ多くの人々が集まってくるというのは、住民としてはありがたいことです。願わくば当塾にも、これからさらに多くの皆さんが勉強しに集まってきてほしいところです。

なかでも、外国の人たちの姿が年を追って増えています。たいてい軽やかな身なりで、巨大なスーツケースをごろごろさせながら、あちこちで花見や観光を楽しんでおられます。もともと京都は海外の方を多く迎える土地ではあるのですが、僕が小学生や中学生の頃には、外国人はもうちょっと珍しい存在でした。外国人講師の方がいろいろな学校を持ち回りで、1ヶ月か2ヶ月に1度だけ、英語の授業に入られていたのですが、そのたびにクラスのみんな大騒ぎをしていました。わずか数十年でいぶんグローバル化したといえそうです。ネットの普及で、その気になればいつでも海外の情報にすぐ触れられるようになったことも大きいです。今の時代を生きていると当たり前のように感じてしましますが、日本の外にあるものが本当に身近なものになっています。

そういう現実を考えると、学校の授業や受験のなかで、実用的な英語の占める割合がどんどん高くなっているのも無理はありません。小学校での英語授業も本格化してきて、いろんなことが変わりつつあります。塾の人間としても、新たに勉強しなければならないことが山積みです。時代の動きについてお話ししたいこと、塾で新たに試みていることもあります。それはまた日を改めて話そうと思います。ただ、英語は避けて通れないというのが実感です。語学の勉強には、「必要だからやる」面と、「勉強自体を楽しむ」面とがあります。外国の言葉が理解できたり、自分の言いたいことを外国語で伝えられるというのは、ぜひ味わってほしいエキサイティングな経験です。そのためには、頭のなかに「英語そのもの」を蓄積することが土台になります。学年はじめのこの時期、基本となる英文を正確に覚えていくことをお勧めします。



京都の桜も、すでに終盤。花を愛でる人々の顔ぶれは、年を追うごとにグローバルになっています。



単語や文法の知識をつけつつ、英語そのもののストックを増やすのが英語学習のポイントです。

当面の教室予定

4/11(木)~4/12(金)

16:00~22:00

4/13(土)

お休みです m(_ _)m

4/14(日)

16:00~21:00

4/15(月)~4/19(金)

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。